

**製品名: RBFOX2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82243**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	41.4kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RBFOX2
別名	RTA; fxh; FOX2; RBM9; Fox-2; HNRBP2; HRNBP2; dJ106120.3
遺伝子 ID	23543.0
SwissProt ID	O43251
免疫原	大腸菌で発現したヒト RBFOX2 (AA: 1-145) の精製された組み換え断片。

**背景**

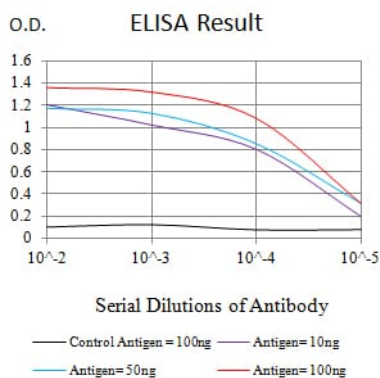
この遺伝子は、C. elegans の Fox-1 遺伝子に類似する複数のヒト遺伝子の 1 つです。この遺伝子は、神経系およびその他の細胞種における選択的エクソンスプライシングの重要な制御因子と考えられている RNA 結合タンパク質をコードしています。このタンパク質

は、多くの選択的スプライシングを受けるエクソンの下流に存在する保存された UGCAUG エlement に結合し、成熟転写産物への選択的エクソンの組み込みを促進します。また、このタンパク質はエストロゲン受容体 1 転写因子と相互作用し、エストロゲン受容体 1 の転写活性を制御します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

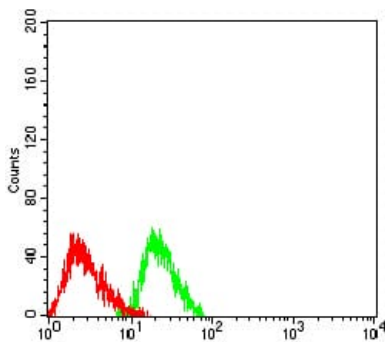
## 研究分野

-

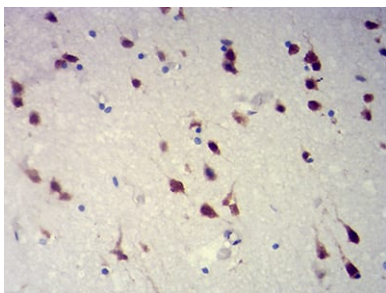
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



RBFOX2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



RBFOX2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析。